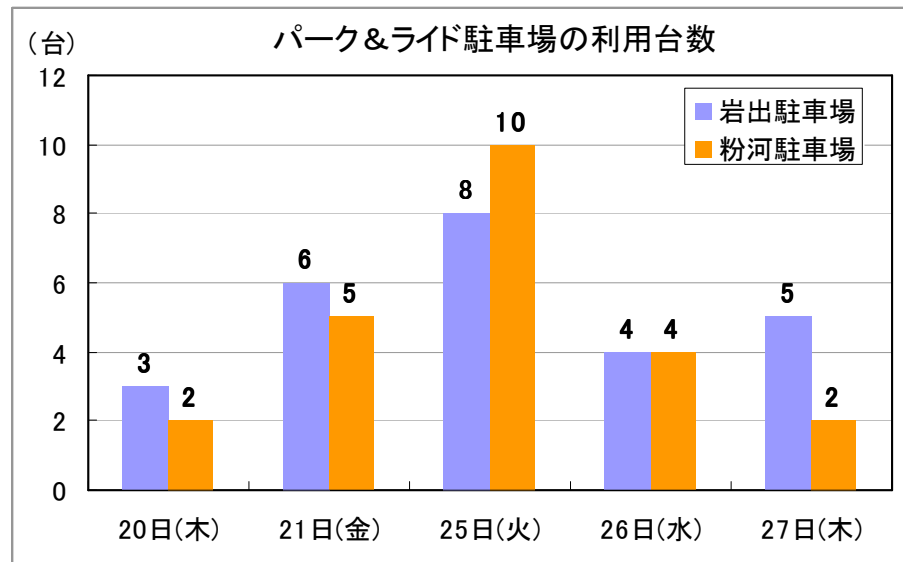


## JR和歌山線パーク&ライド社会実験の結果

### 1) パーク&ライド駐車場の利用状況

パーク&ライド駐車場の利用台数は、総利用台数が49台で、日最大利用台数は18台であった。

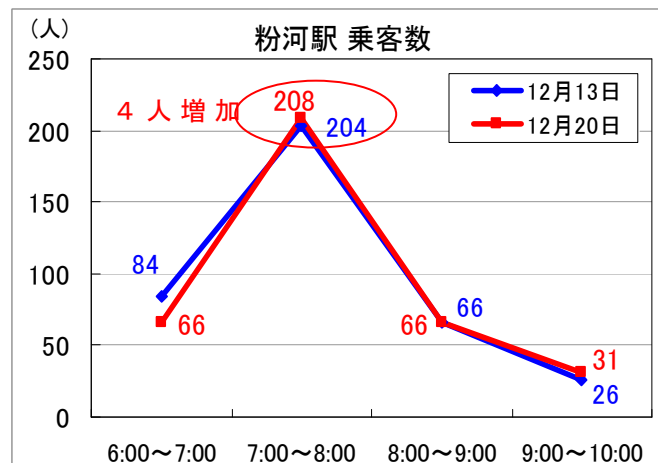
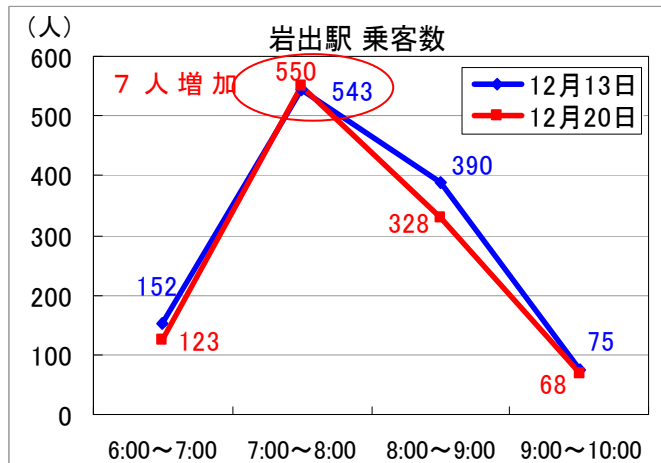
岩出パーク&ライド駐車場は、総利用台数が26台、日最大利用台数は8台。  
粉河パーク&ライド駐車場は、総利用台数が23台、日最大利用台数は10台。



### 2) 岩出駅・粉河駅の乗客数の状況

岩出駅・粉河駅の乗客数調査は、12月13日と20日の2日間とし、朝の通勤時間帯である6時～10時までの4時間で実施した。

乗客数は、岩出駅、粉河駅ともに13日より20日の乗客数が減少している。しかし、7時～8時の通勤時間帯に着目すると岩出駅で7人、粉河駅で4人の増加が見られる。



### 3) 利用者アンケート調査結果

#### ① アンケート調査の概要

利用者アンケート調査の実施は、社会実験開始日の12月20日からパーク&ライド駐車場の利用者に対して直接配布し、12月30日を締め切り日として郵送回収で行った。

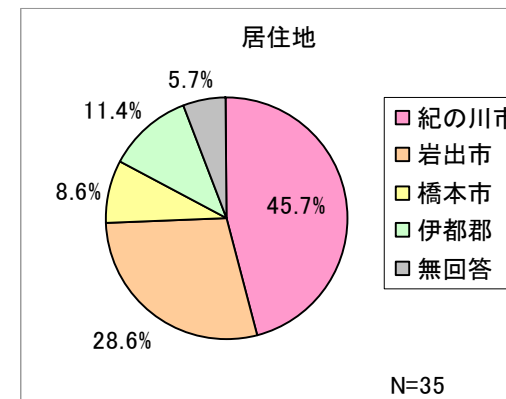
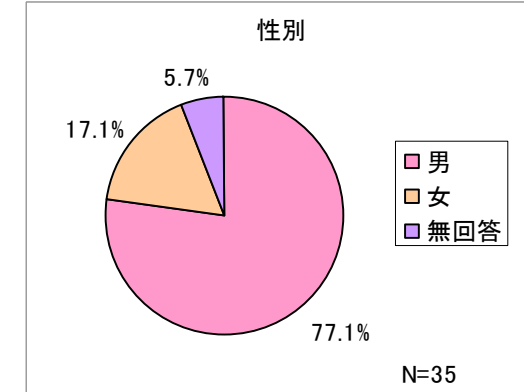
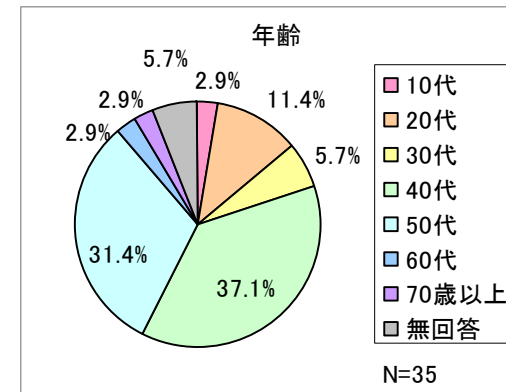
調査の目的は、実際の利用者から利用実態を知るとともに、パーク&ライド駐車場の必要性や改善事項、利用の継続意向を把握することを目的とした。

#### ② 利用者の属性

年齢は、「40代」と「50代」で68.5%と約7割を占めている。

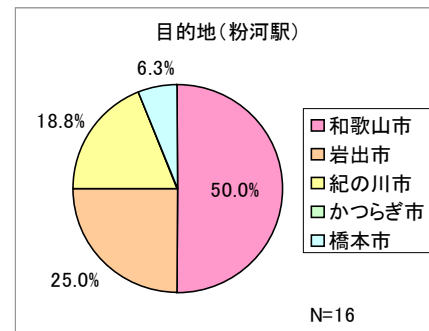
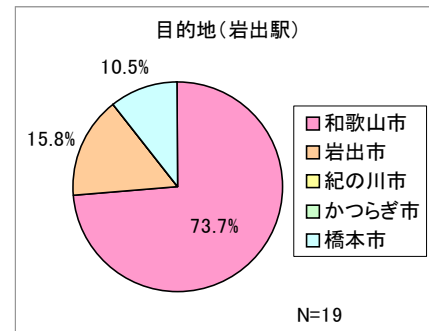
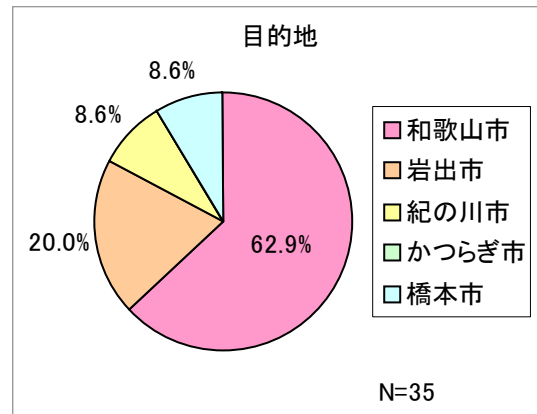
性別は、「男性」が77.1%で8割近くを占める

居住地は、「紀の川市」が45.7%で、「岩出市」とあわせると7割を超える。

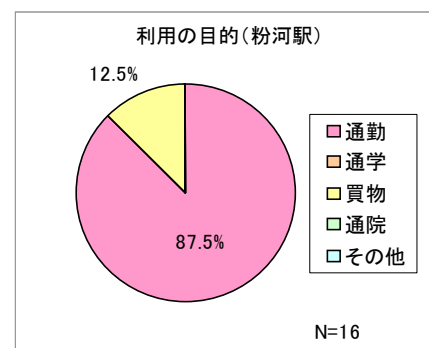
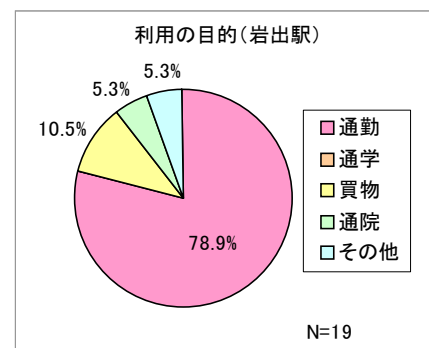
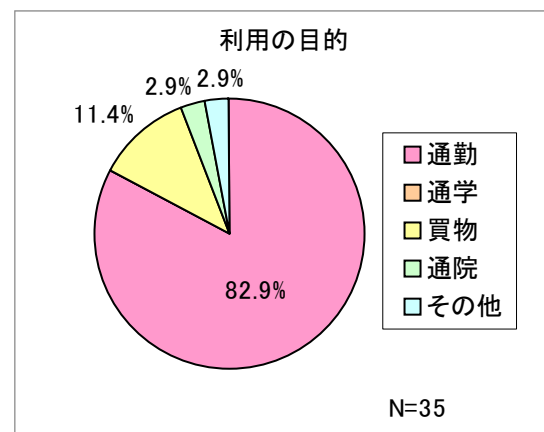


③ 目的地と利用目的

目的地は、「和歌山市」が 62.9%と最も多く、駅別に見ても「和歌山市」が最も高い割合となっている。

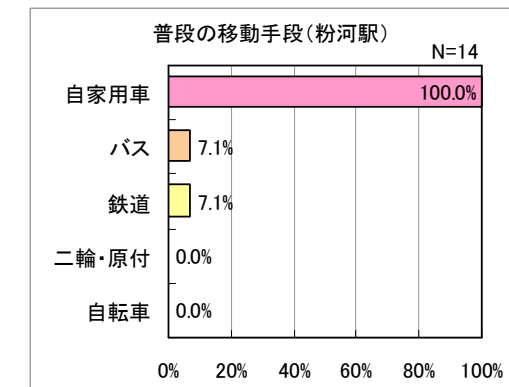
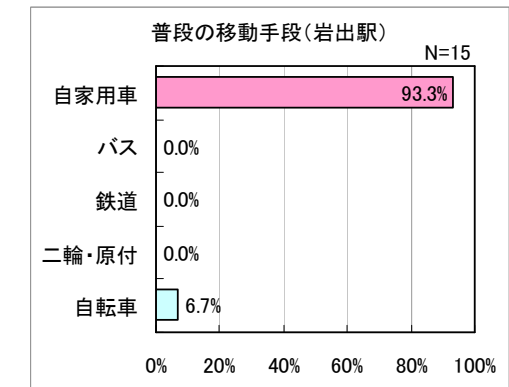
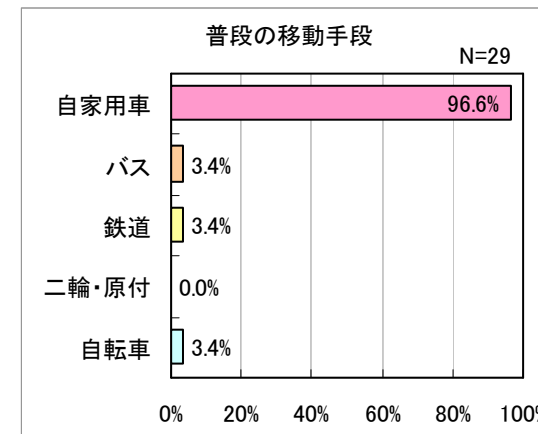


利用目的は、「通勤」が 82.9%と8割を超えている。次いで「買物」による利用が見られる。



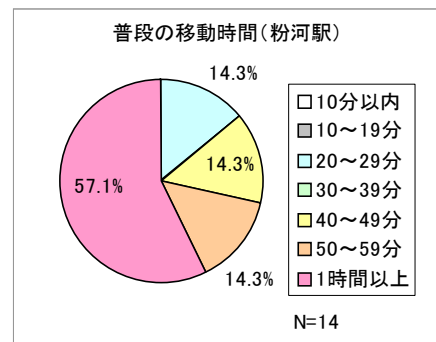
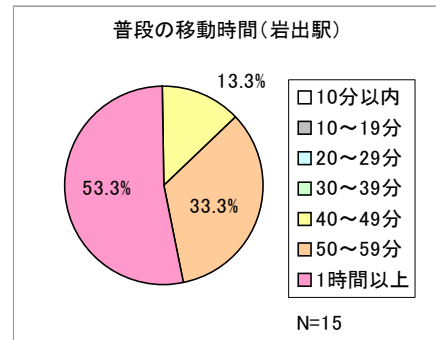
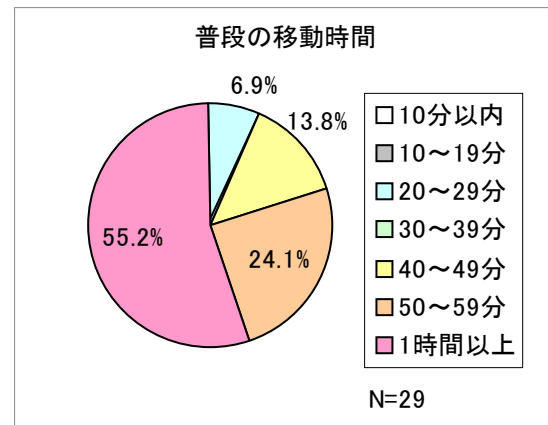
④ 普段の移動手段

普段の移動手段は、「自家用車」が 96.6%とほとんどが自家用車での移動を行っている。



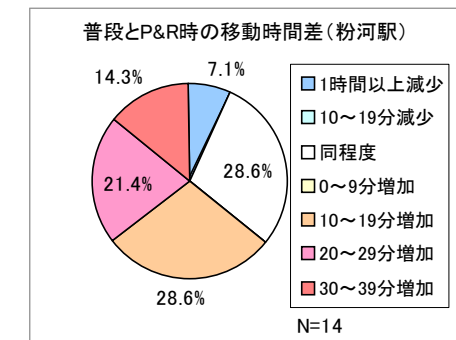
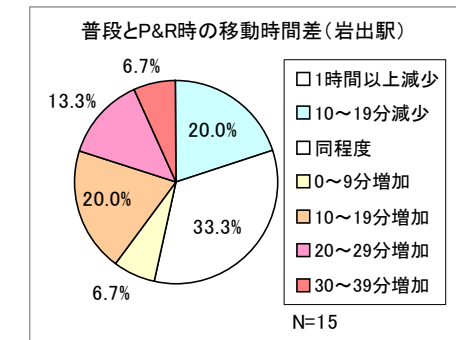
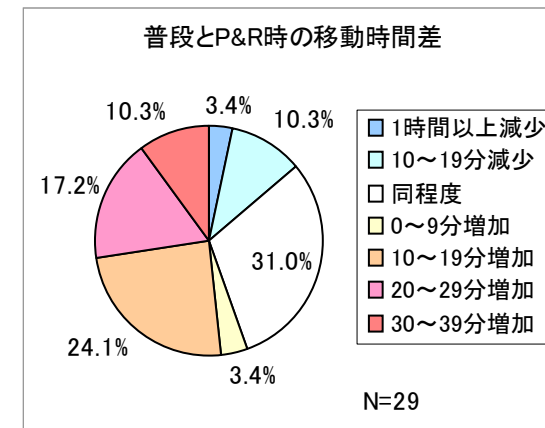
⑤ 普段の移動時間と P&R 利用時の移動時間

普段の移動時間は、「1時間以上」が 55.2%で最も多く、次いで「50～59分」の 24.1%をあわせると、8割近くに達する。また、移動時間「1時間以上」は、粉河駅利用者がより高い割合となっている。

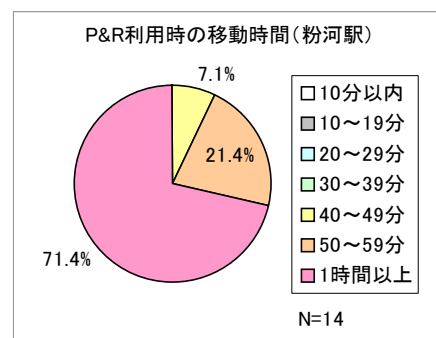
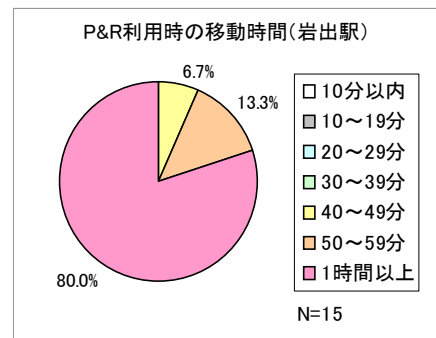
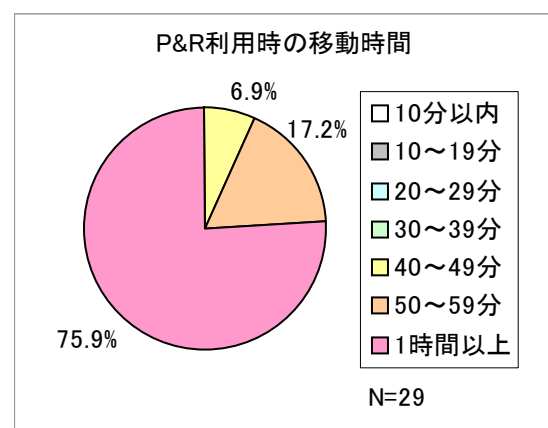


普段の移動時間と P&R 利用時の移動時間を比べると、増加した方が 55%と5割を超えている。また、同程度の時間であった方が 31%、減少した方が 13.7%となった。

駅別では、粉河駅が増加した方が 64.3%と割合が高くなっており、P&R 利用時の移動時間に対する負担が大きいことが伺える。



P&R 利用時の移動時間は、「1時間以上」が 75.9%で最も多く、次いで「50～59分」の 17.2%をあわせると、9割を超えている。



**P&R 利用時、移動に対する時間的負担が増加。利用継続や拡大のためには負担軽減策が最も重要**

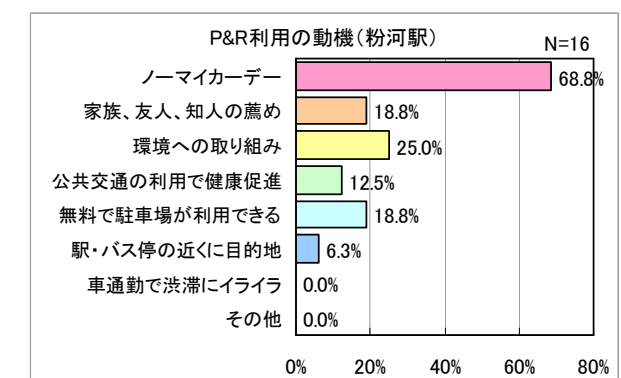
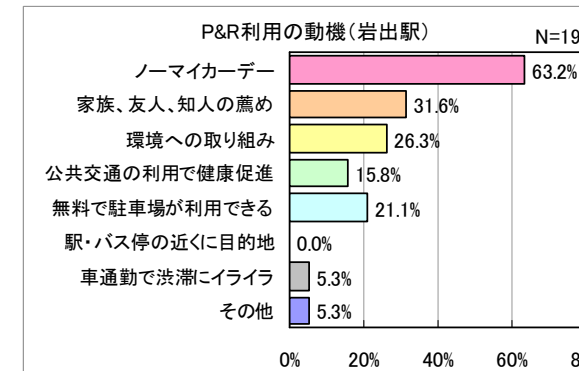
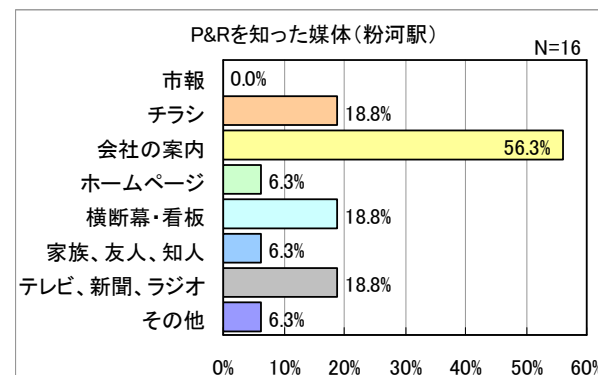
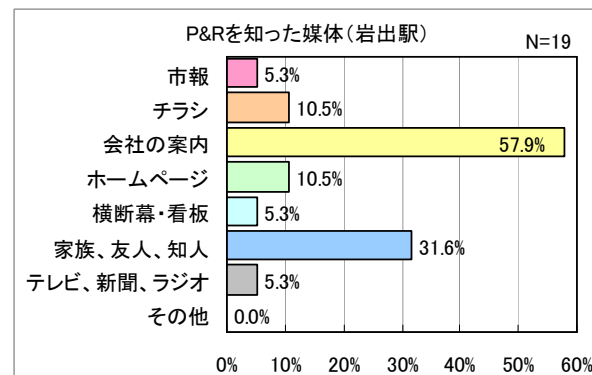
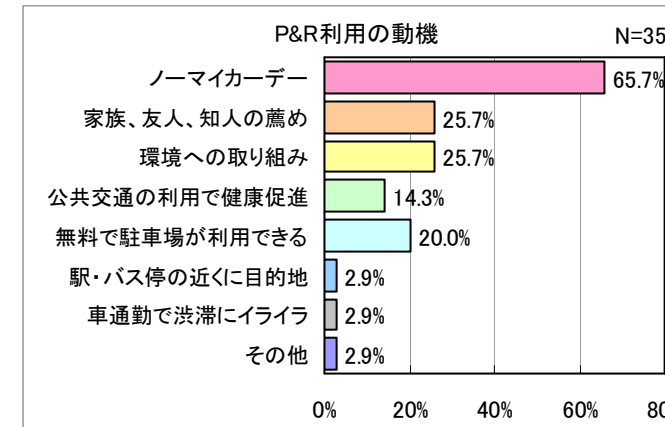
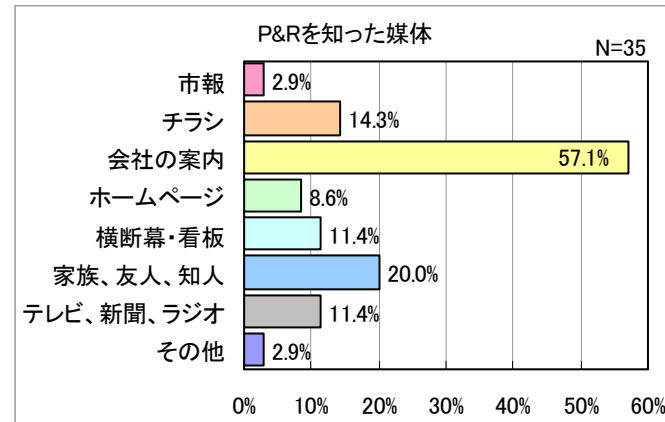
- ・ P&R で移動時間が増加した利用者が 55%で、利用者への負担が大きい
- ・ 特に、20分以上の大きく増加した利用者が 27.5%に達しており、時間的な負担を減らすことが求められる。

⑥ パーク＆ライドの認知媒体と利用動機

パーク＆ライドを知った媒体は、「会社の案内」が 57.1%と最も高く、次いで「家族、友人、知人」による口コミとなっている。

駅別で見ると、「横断幕・看板」の項目で、横断幕を設置した粉河駅が 18.8%と設置していない岩出駅の 5.3%に対して 13.5 ポイントも高いことから周知における有効性が高いことが伺える。

パーク＆ライド駐車場の利用動機は、ノーマーカーデーをきっかけにしている人が 65.7%と最も多く、次いで「家族、友人、知人の薦め」「環境への取り組み」となっており、先の認知媒体と同様に、「家族、友人、知人」の関与度が高いことが伺える。



**会社を主体とした「ノーマーカーデー」の推進が重要**

- ・ P&R を知ってもらうためには、「会社」を通じた広報の実施が有効である。
- ・ 実際に実施してもらうには、「ノーマーカーデー」などの統一的なキーワードで呼びかけることが有効である

**利用者ではなく、家族・友人・知人などへの広報が重要**

- ・ P&R の認知や利用の動機の両面で、「家族、友人、知人」の関わりが大きい。
- ・ そのため、利用者自身とともに、家族などへの広報活動が取組の広がりには重要である

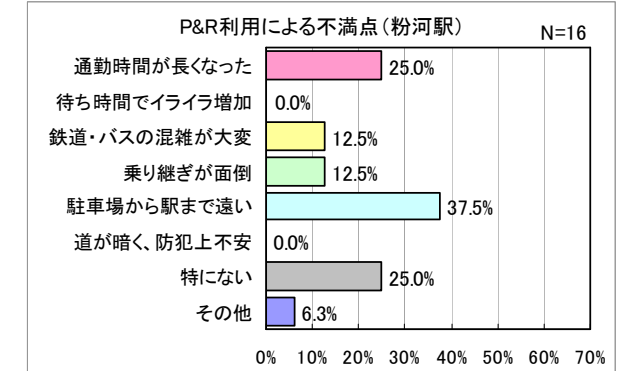
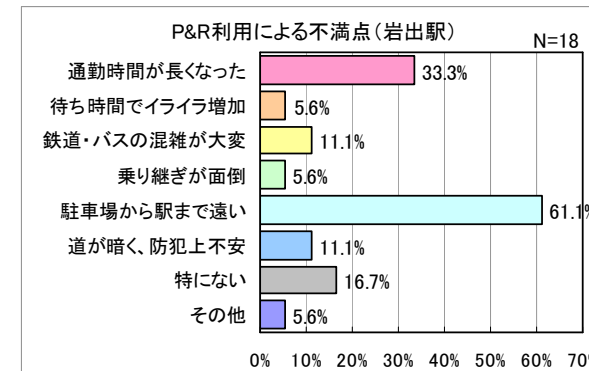
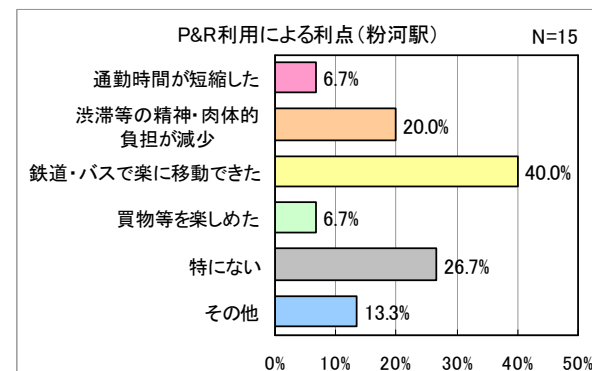
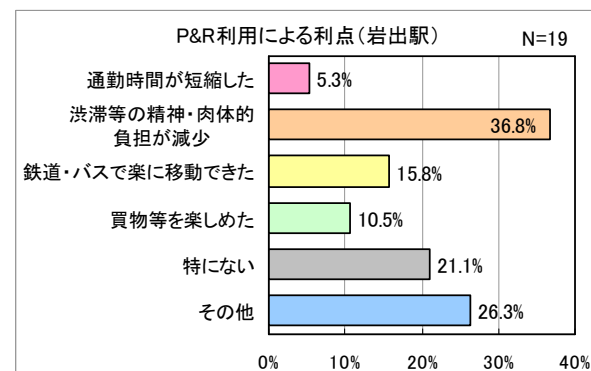
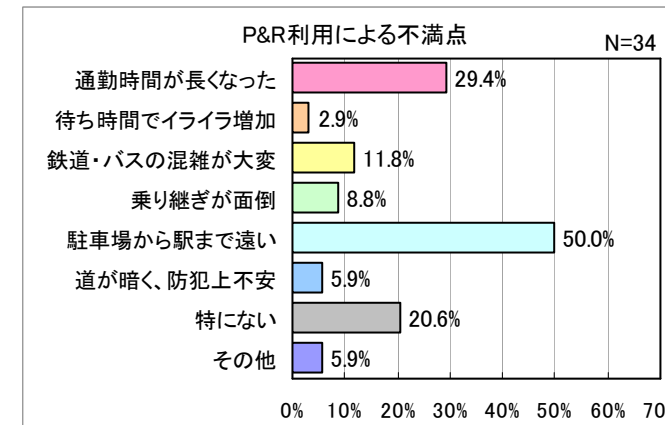
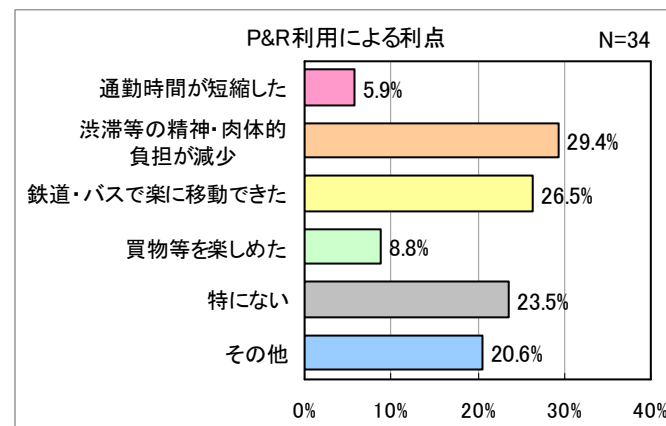
⑦ パーク＆ライド駐車場利用による利点と不満点

パーク＆ライド駐車場の利用による利点は、「渋滞等による精神・肉体的負担が減少した」が29.4%で最も多く、次いで「鉄道・バスで楽に移動できた」の26.5%となっている。

駅別では、岩出駅が「渋滞等による精神・肉体的負担が減少した」が36.8%と最も多いのに対して、粉河駅では「鉄道・バスで楽に移動できた」が40%と最も多くなっており、鉄道の利用距離の差などが要因と考えられる。

パーク＆ライド駐車場の利用による不満点は、「駐車場から駅まで遠い」が50%で最も多く、次いで「通勤時間が長くなった」の29.4%となっている。

駅別では、駐車場が遠かった岩出駅において「駐車場から駅まで遠い」が61.1%と不満度割合が高い。



その他の意見

- ・ 和歌山線に「快速」があることを知った
- ・ 歩いて「健康増進」につながった(2)
- ・ 環境への取組ができた
- ・ 自動車ですぐの近くに行くことができた

移動の快適性向上が最も利点。付加価値的な効果は現状では少ない

- ・ P&Rの利点は、「精神的・肉体的な負担軽減」「公共交通で楽に移動できる」で移動の快適性に対する内容を重視
- ・ 「買物等を楽しめた」などの付加価値的な効果の内容は少ないため、利用によるインセンティブ面の検討が必要

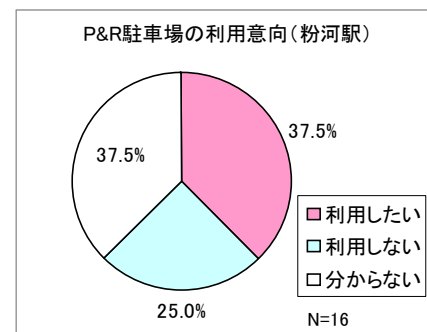
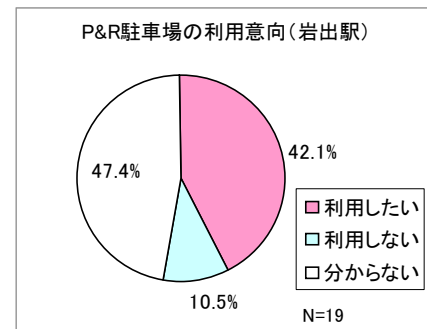
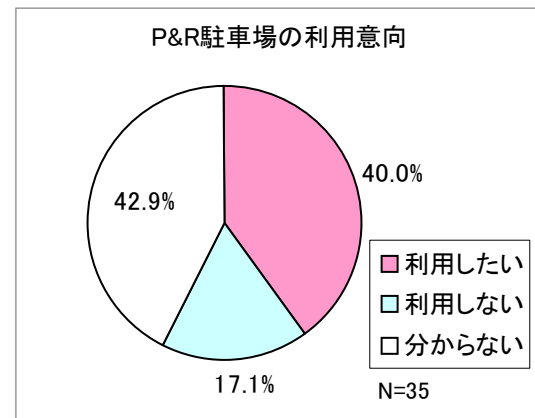
従前の移動時間程度の速達性を確保し、許容範囲内の駐車場設置

- ・ P&Rの不満点は、「駐車場が駅から遠い」「通勤時間が長くなった」で時間的な要素の内容が重視
- ・ そのため、許容範囲内の駐車場の設置、従前の移動時間程度

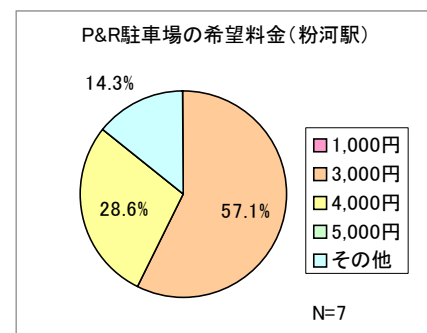
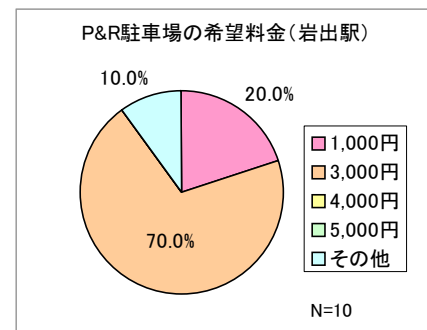
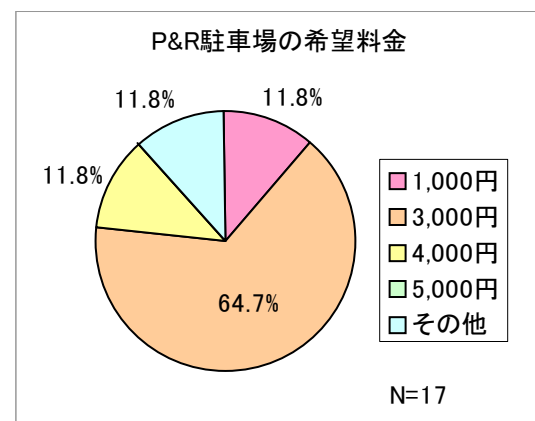


⑧ パーク＆ライド駐車場の利用意向と希望料金、許容移動時間

パーク＆ライド駐車場の利用意向は、「利用したい」が40%で、「利用しない」の17.1%よりも高い割合となっている。



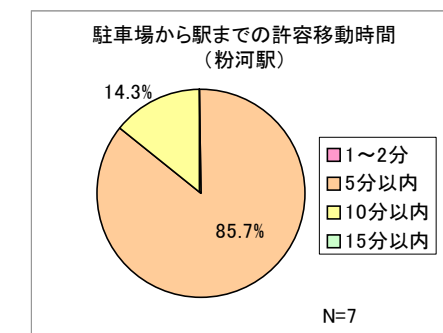
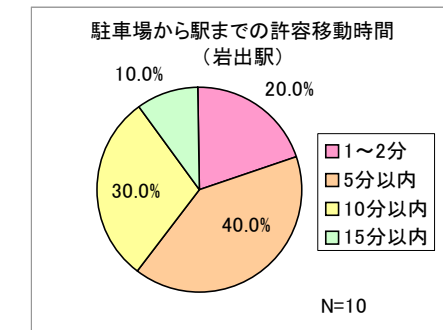
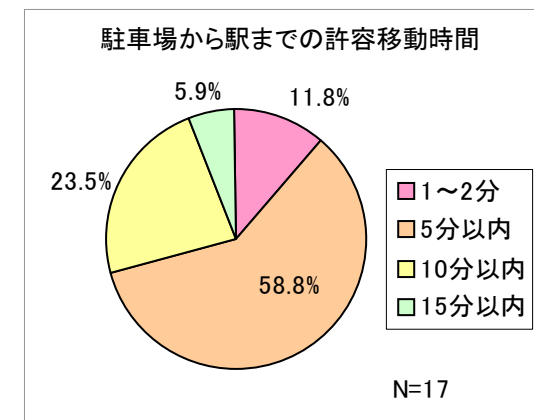
パーク＆ライド駐車場の希望料金は、「3,000円」が64.7%で最も多くなっており、月極駐車場の価格よりも少し安い程度の負担が可能であることが伺える。



その他の意見  
・ 月極だけでなく1日利用  
もあると良い

パーク＆ライド駐車場から駅までの許容移動時間は、「5分以内」が58.8%で最も多いことから、駅から概ね400m以内の場所に設置することが希望であることが伺える。

※不動産の表示徒歩による所要時間：道路距離80メートルにつき1分間を要する(時速4.8km/h)で算出



**P&R 駐車場の料金は 3,000 円以内。一時利用も検討**

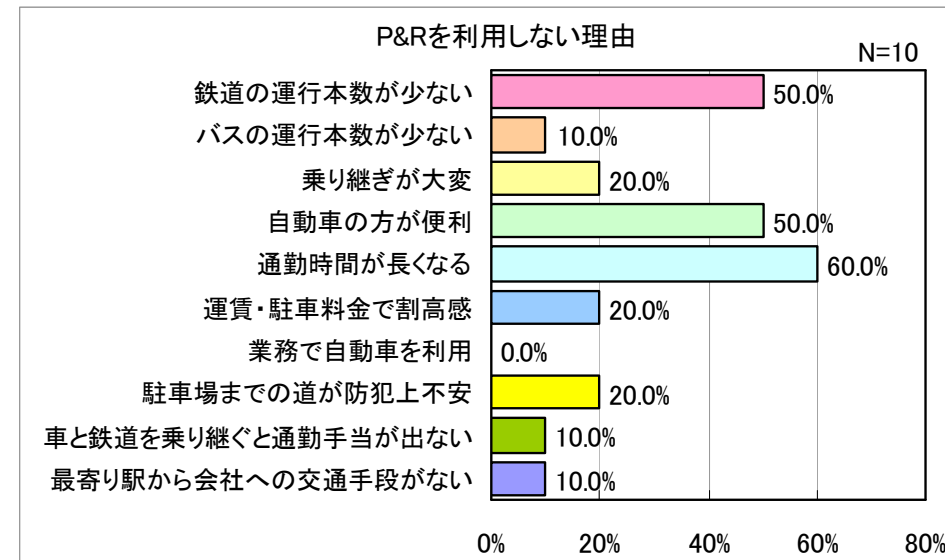
- ・ P&R 駐車場の希望料金は、「3,000円」以内が概ねの範囲
- ・ 一時利用ができるようにすると利用促進になる

**P&R 駐車場は、駅より 400m 以内で設置**

- ・ 駐車場から駅までの許容移動時間は、5分以内で約7割。
- ・ 移動時間5分以内は、約400m相当

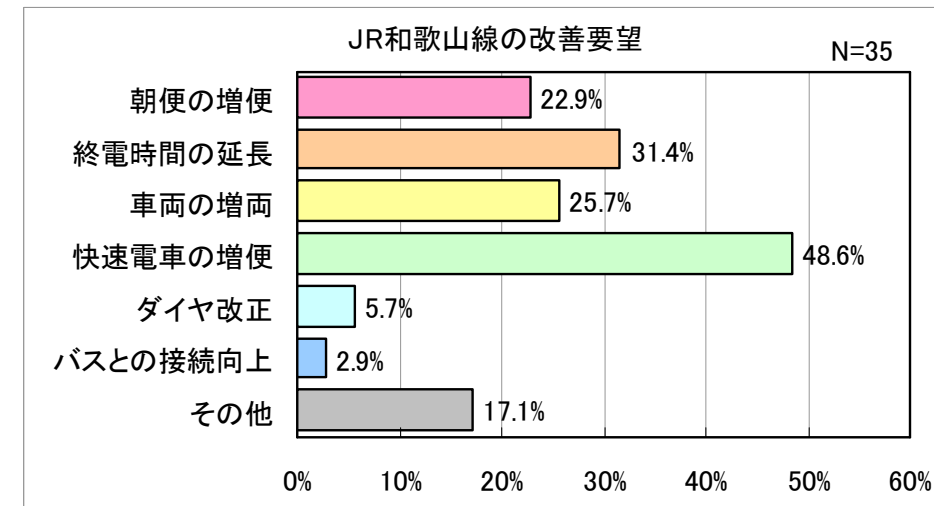
⑨ パーク＆ライド駐車場を利用しない理由

パーク＆ライド駐車場の利用しない理由は、「通勤時間が長くなる」が60%で、「鉄道の運行本数が少ない」と「自動車の方が便利」が50%となっている。



⑩ JR 和歌山線の改善要望

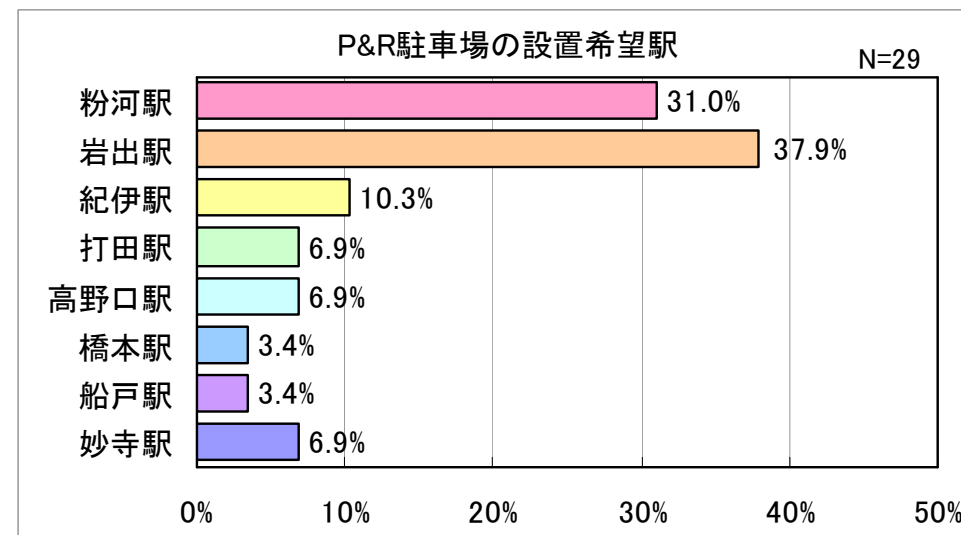
JR 和歌山線の改善要望は、「快速電車の増便」が48.6%で、次いで「終電時間の延長」の31.4%となっており、目的地までの速達性の確保や利用時間拡大による利便性の充実が求められている。



⑩ P&R 駐車場の設置希望駅

パーク＆ライド駐車場の設置希望駅は、「岩出駅」が37.9%で、次いで「粉河駅」となっており、市の主要駅において希望が高いことが伺える。

一方、「紀伊駅」などの駅でも希望あるため、需要に対応して小規模なP&R駐車場を設けることで対応を図ることが求められる。



**移動時間が増加しないように速達性の向上が第一条件。さらに鉄道利便性の向上（増便）**

- ・ P&R を利用しない理由は、「通勤時間が長くなる」
- ・ 「自動車の方が便利」と「鉄道の運行本数が少ない」とは同割合

**P&R 駐車場は「岩出駅」「粉河駅」を核に、沿線駅に展開**

- ・ P&R 駐車場の設置希望駅は、「岩出駅」「粉河駅」
- ・ 少数意見としては、沿線駅でも設置希望あり

⑫ JR 和歌山線に対する自由意見

JR 和歌山線に対する自由意見は、「増便」に対する意見が最も多く、朝夕の増便と快速電車の夕方から夜の増便が要望されている。

上記の「増便」と「増両」など輸送力アップや「終電時間の延長」の利便性の向上の内容を多くなっている。

大項目	小項目	意見
1. 増便	①朝夕の増便	・21時台まで通勤時間帯並の本数の確保 ・朝の8時や9時台の便数が倍ぐらいほしい ・朝夕の増便
	②快速電車の増便	・和歌山発19時以降の2本に1本を快速に ・18時～21時の間、30分間隔での快速電車の運行
2. 増両	①車両の増両	・車両の増両→2両を4両にしてほしい ・朝夕の車両の増両
3. 運行時間の延長	①終電時間の延長	・終電時間の延長 ・終電時間が延長されればとてもうれしい
4. 駅周辺の拠点機能強化	①魅力ある施設の立地	・各駅(周辺を含む)を魅力のある施設に出来れば
5. その他	①混雑度の緩和	・着席して通勤できれば楽になり、読書などができる
	②運賃の軽減	・運賃が割高
	③その他	・対向電車の待機時間 ・降雨時の不通 ・座席の薄さ

⑬ P&R 社会実験に対する自由意見

P&R 社会実験については、実験の継続的な実施を要望する意見が多いが、内容面では、時期の変更や実施場所の拡大・変更、利用対象の拡大など見直しが必要であることが指摘されている。

駐車場の設置場所は、駅の敷地利活用など近くでの設置が利用の前提条件であることや料金も無料など安くすることが重要であるとの意見である。

また、社会実験でなく、恒久化することや防犯性の確保、付加価値の創出など安心して魅力ある利用環境づくりが求められている。

大項目	小項目	意見
1. 駐車場の利用条件	①設置場所	・岩出会場は駅まで遠い。1～2分が限度。特に冬 ・駐車場が駅に近くなければ不便 ・もう少し駅の近くの方が良かった ・駅の敷地利活用
	②料金	・無料のパーク&ライドはよかった ・無料が第一
2. 付加価値の創出		・電車を降りた後、スーパーでちょっと買物もできると良い
3. 防犯対策		・夜の帰りは駐車場が暗く遠いので怖い
4. 広報		・駐車場付近や電車内等もっと広告をしたほうが良い
5. 恒久化		・実験ではどうしても参加者が増えにくい
6. 実験の継続	①実施場所の拡大・変更	・他都市においても実験を計画して下さい ・橋本市から粉河駅まで約35分の車通勤で、粉河駅の発車時刻に間に合わせるための神経をつかう
	②利用対象の拡大	・昼間や休日等の買い物客等を対象にするのもよい
	③時期の変更	・寒い時期は利用しにくかった人もいる。別の時期に行ってはどうか
	④実験の継続	・生活の利便性の向上、環境問題をテーマにした実験を実施 ・パーク&ライドをドンドン進めて下さい ・どんどん実験をしてほしい ・是非続けて実施して欲しい ・時期をみて継続
7. 利用による課題等	①乗り継ぎのデメリット	・通勤経路と異なる為、交通費の実費負担が発生 ・橋本方面は、電車のダイヤ・駅からの2次交通の面でメリットは少ない
	②駅機能の充実	・和歌山駅での貸自転車の充実
8. その他		・勤務地が岩出市なので現状ではデメリットが大きい ・自家用車で通勤しているのは帰宅時の時間が不規則。JRの時間調整が必要 ・地球温暖化、ガソリン代値上げの中、関心が高まっておりタイムリー